

# 庁議の概要

開催日 平成27年10月26日(月)

## ◎項目

### 1 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

## ◎内容

### 1 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

#### ○ 日本一の健康長寿県構想について

(知事)

健康政策部と地域福祉部で、次期長寿県構想に向けた骨太化の議論をよろしく願います。難しい課題に正面からまず取り組んでいただく。行政としてできる分野できない分野があるだろうが、これは民間の分野だからといって検討せずではなく、できる限り結果として実効性ある形にしていくために、官として何をすべきか、例えば、そういう民間の取り組みを支援できるようにしていくためにはどうあるべきなのかなど、並んだラインナップを見て、これならば5つの柱に向けて具体的に結果を出していけるだろうと部長自身が納得できるところまでぜひ追求してみしてほしい。こういう時はトップが大事であり、部長2人がどこまでこだわるかがすごく大きいことだと思う。よろしく願います。

#### ○ 高級飲食店の産地招へいについて

(水産振興部)

高級飲食店でミシュラン一つ星の麻布十番のフランス料理店「Liberte a table de TAKEDA」のシェフを、本日・明日と中土佐町、黒潮町、四万十町にお呼びし、スラリーアイスを使ったぴんぴん鱈やアカムツ、ノドグロ、四万十川のアユなどを売り込むようにしている。高級飲食店はこれが今年3件目になるが、これまで来ていただいたお店の方には取り引きも継続していただいております、非常に情報発信力を持っておられるので、いろいろな形で高知の魚の良さを発信していただいている。また、シェフのグループがあるようで、来年度そういうグループの方々に集ってもらい、高知の魚のPRができないかということに向こうから提案いただいている。ぜひそういうこともやっていきたいと思っている。

(知事)

地産外商公社のプロモーションの部隊とうまくコラボできると結構大きい話になるかもしれない。

(産業振興推進部)

これに土佐あかうしを早く乗せることができたらいいなと思っている。

(水産振興部)

農の食材とかも非常に興味を持っておられるので、そこは一緒にやっついていかないといけないと思っている。

## ○ 提出期限の徹底について

(会計管理局)

支払いに関してお願いをしたい。最近、支出命令書を支払当日に会計管理局に持ち込むといった事案があった。会計規則では支払予定日 1 週間前までの提出となっており、指定日に支払いができないという事態が発生する可能性がある。金融機関のみならず、支払先にも迷惑がかかるので、会計規則の提出期限の徹底をお願いしたい。

なお、資金が急に必要になる場合もあると思うので、そういう事態になった場合はすぐに一報をもらえれば可能な限り対応はしたい。

(知事)

本当に厳しくやってほしい。適正な会計事務がすべての基本であるので、よろしく願います。

## ○最後に知事から以下の点について話があった

(知事)

先ほど健康政策部と地域福祉部に言ったこととも関連するが、他の部でも、来年度予算の検討を進めていく中で、それぞれの分野で骨太な議論をしてほしい。骨太なというのは 3 つの意味がある。既存の前提を諸処のものとせず、既存の前提そのものを大いに改めて見直すという根本的な見直しをしてほしい。それで定めた目標を本当の意味で実効ある形で達成できるようになっていくためにはどうあるべきか大いに考える。結果として、県全体で雇用を生み出し、さらには様々な社会福祉上の諸問題の解決につながっていくようにという点も大いに意識してほしい。前提も含めて大いに見直しを。

P D C A サイクルを回すときでも、何年かに 1 回は根本から洗い直すこと。その中において定めた目標について明確に実効ある形で達成ができるように。結果が本当に県経済の振興、社会福祉諸問題の解決につながるものとなるよう。この 3 者は全て相互に関連した話であり、議論を徹底して繰り返してほしい。

その過程で、止めるべきものは止めることも大事。スクラップアンドビルドも非常に大事なので、概ね成果が上がったとか、もう民間に任した方がむしろ良いということも出てくるだろうと思う。どちらかというところ、県は困難なフロントラインに立っていく方向に向かっていくことになると思うが、そこも見極めながら検討をお願いしたい。